

令和2年度生徒指導上の諸課題に関する状況について（概要版）

○ いじめの状況等（公立の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校）

【概 要】 認知件数 2,282 件（前年度 2,561件） ※前年度比 279件 減（10.9% 減）

校種別 年度	小学校 認知件数 (1,000人あたり)	中学校 認知件数 (1,000人あたり)	高等学校 認知件数 (1,000人あたり)	特別支援学校 認知件数 (1,000人あたり)	合 計 認知件数 (1,000人あたり)	県(国公立) 認知件数 (1,000人あたり)	全国(国公立) 1,000人あたりの 認知件数
R2	1,452 (42.6)	603 (35.5)	164 (10.8) ※162 (11.7)	63 (63.8)	2,282 (33.9) ※2,280 (34.6)	2,305 (31.8)	39.7
R元	1,567 (45.7)	724 (42.5)	208 (13.4) ※206 (14.6)	62 (62.1)	2,561 (37.7) ※2,559 (38.5)	2,607 (35.7)	46.5
H30	1,656 (47.8)	720 (42.4)	255 (16.1) ※254 (17.5)	48 (47.9)	2,679 (39.1) ※2,678 (39.9)	2,742 (37.1)	40.9
H29	1,067 (30.9)	550 (31.3)	144 (9.0) ※144 (9.9)	36 (35.4)	1,797 (26.0) ※1,797 (26.5)	1,831 (24.5)	30.9
H28	1,027 (29.5)	422 (23.4)	113 (7.0) ※113 (7.7)	56 (58.3)	1,618 (23.1) ※1,618 (23.6)	1,643 (21.8)	23.9

※は通信制高校を含まない数値

◎いじめの問題に対する今後の対応

(1) 学校組織の取組の一層の充実（学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進）

- ・いじめを見逃さない・見過ごさない学校づくり
- ・校内のいじめ対策組織を中心とした対応体制整備及び強化
- ・居場所づくり・絆づくりによる魅力ある学校づくり（人権教育、道徳教育、体験活動の充実等）
- ・日常の観察、面接、調査（アンケート）からの早期発見・対応の充実
- ・児童生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等を活用した親和的な学級づくりによる児童生徒の所属感や自己有用感を高める取組
- ・学校いじめ防止基本方針の点検・見直し
- ・情報モラル教育の充実

(2) スクールカウンセラー等の活用による校内教育相談体制や電話・SNS等による相談体制の充実

(3) 生徒指導に係る校内研修の充実（いじめの未然防止の取組や適切な早期対応等の理解）

- ・島根県教育センター出前講座の活用

(4) 外部人材の活用

- ・いじめ等対応アドバイザーの活用

(5) いじめ防止対策推進法及び島根県いじめ防止基本方針に基づく取組の推進

- ・関係機関との連携（いじめ問題対策連絡協議会）